

水土里フォーラム2008 カレッジミーティング in 岐阜大学を開催

2月3日（火）、東海農政局整備部及び農村計画部は、岐阜大学応用生物科学部 松本康夫教授の地域資源学の授業を活用し、60名の学生を対象に、「水土里フォーラム 2008 in 岐阜大学－農業・農村の資源保全と集落の活性化を考えよう－」を開催しました。

最初に松本教授より、豊かな自然環境は手を入れてこそ守られており、先人の苦労や農業・農村が果たしている役割を理解し守っていくことが必要との挨拶があり、本日の授業のねらいや進め方の指導がありました。続いて、葭井設計課長が農業・農村の振興のためには農地・水・人、そしてそれを取り巻くコミュニティの形成が必要などの話をした後、「農業・農村の資源保全や集落の活性化のためにできること」をテーマに、グループ討論を行いました。

グループ討論では農業のイメージを良くする方法、儲かる職業にする方法、都市住民や非農家を農村に呼び込む方法等について、議論が活発になされていました。

討論後の各グループ発表での意見・提案として「混住化による地域コミュニティの低下の改善策として、小学校の授業で農業体験と親の取り込み」「人集めとして”環境”をテーマに」「特産品のブランド化」「学生が研究課題として町おこしに長期的に参加」「農村滞在などで取得できて就職に有利な資格の創設」等がありました。

学生の感想として「ひとつづくりが大切」「農業振興の奥の深さを感じた」「起業してみたいくなった」「周りの人の意見が刺激になった」等とあり、好評を得たことから、若者に農業・農村について理解を深めてもらうだけでなく、農政局としても農地・水・環境保全向上対策や農山漁村の活性化を推進していく上で参考となる意見を得る機会として、引き続き実施していきたいと考えています。

【東海農政局設計課】

グループ討論の様子



グループ発表の様子

